

琵琶湖保全再生施策に関する計画 関連事業予算について

1. 平成31年度 琵琶湖保全再生施策に関する計画
関連事業予算
2. 琵琶湖保全再生の推進に向けて
～政府提案・連携協力・課題共有～

1. 琵琶湖保全再生施策に関する計画 関連事業予算



(単位: 千円)

	平成30年度当初予算額 A					平成31年度当初予算額 B					増減 B-A				
	予算額	財源内訳				予算額	財源内訳				予算額	財源内訳			
		国費	起債	その他	一般財源		国費	起債	その他	一般財源		国費	起債	その他	一般財源
3 琵琶湖の保全および再生のための事項	29,617,748	10,957,141	5,578,426	10,853,421	2,228,760	31,477,357	12,302,100	5,841,961	10,904,803	2,428,493	1,859,609	1,344,959	263,535	51,382	199,733
(1)水質の汚濁の防止および改善に関する事項	14,281,771	3,880,158	1,547,426	8,679,314	174,873	14,036,782	4,049,139	1,426,652	8,393,356	167,635	▲ 244,989	168,981	▲ 120,774	▲ 285,958	▲ 7,238
(2)水源のかん養に関する事項	9,129,760	4,500,643	2,785,400	947,217	896,500	10,287,075	5,206,983	2,940,102	1,072,059	1,067,931	1,157,315	706,340	154,702	124,842	171,431
(3)生態系の保全および再生に関する事項	1,578,499	357,679	305,900	296,137	618,783	1,576,238	390,982	361,907	230,762	592,587	▲ 2,261	33,303	56,007	▲ 65,375	▲ 26,196
(4)景観の整備および保全に関する事項 (※再掲)	172,786	0	0	0	172,786	180,074	0	0	0	180,074	7,288	0	0	0	7,288
(5)農林水産業、観光、交通その他の産業の振興に関する事項	4,627,718	2,218,661	939,700	930,753	538,604	5,577,262	2,654,996	1,113,300	1,208,626	600,340	949,544	436,335	173,600	277,873	61,736
4 琵琶湖保全再生施策の実施に資する調査研究に関する事項	236,282	25,287	0	59,694	151,301	255,082	38,345	0	58,099	158,638	18,800	13,058	0	▲ 1,595	7,337
5 琵琶湖保全再生施策に取り組む主体 その他琵琶湖保全再生施策の推進体制の整備に関する事項	110,056	8,000	0	23,199	78,857	144,818	7,650	0	53,339	83,829	34,762	▲ 350	0	30,140	4,972
6 琵琶湖保全再生施策の実施に資する体験学習を通じた教育その他の教育の充実に係る事項	614,599	11,125	288,200	220,313	94,961	818,301	23,091	118,700	284,769	391,741	203,702	11,966	▲ 169,500	64,456	296,780
合計(※)	30,578,685	11,001,553	5,866,626	11,156,627	2,553,879	32,695,558	12,371,186	5,960,661	11,301,010	3,062,701	2,116,873	1,369,633	94,035	144,383	508,822

主な増減: 平成31年度は前年度と比較して、約21億円の増額。

増額の主な要因: 県営農地防災事業、県営かんがい排水事業などの公共工事において、国の防災減災・国土強靱化のための緊急対策に対応したもの。

減額の主な要因: 土砂災害防止法に基づく基礎調査事業の完了による砂防事業の減、下水道の湖南中部処理区管理における点検数量の減、琵琶湖博物館展示事業の第2期リニューアル終了による減など。

新規の主な事業: 琵琶湖におけるプラスチックごみ問題調査検討事業、南湖湖底環境改善事業、気候変動適応推進事業など。

※「(4)景観の整備および保全に関する事項」については再掲。「合計」については、再掲を除いている。

1. 琵琶湖保全再生施策に関する計画 関連事業予算



琵琶湖を「守る」ことと「活かす」こと的好循環の創出

「琵琶湖保全再生施策に関する計画」関連予算

【予算額 32,696百万円】※

<内 訳>

●水質の汚濁の防止および改善	14,037百万円	●農林水産業、観光、交通その他の産業の振興	5,577百万円
●水源のかん養	10,287百万円	●施策の実施に資する調査研究	255百万円
●生態系の保全および再生	1,576百万円	●施策に取り組む主体、推進体制の整備	145百万円
●景観の整備および保全に関する事項（※再掲）	180百万円	●施策の実施に資する体験学習を通じた教育、その他	818百万円

※「景観の整備および保全に関する事項」については再掲。「合計」については、再掲を除いている。

計画の重点事項

琵琶湖を「守る」ことと「活かす」こと的好循環をさらに推進



1. 琵琶湖保全再生施策に関する計画 関連事業予算

琵琶湖を『守る』取組

水産資源の回復

- 種苗放流事業（80百万円）
（アユ、ニゴロブナ、ビワマスの放流等）
- 水産基盤整備事業（367百万円）
（ヨシ帯造成、砂地造成等）
- 新 ○南湖湖底環境改善事業（3.8百万円）



琵琶湖漁業

◆外来魚を除く琵琶湖漁獲量

H26:880t、H27:979t、H28:947t、H29:713t

◆オオバナミズキンバイ生育面積（年度末時点）

H26:4.6万㎡、H27:20.0万㎡、H28:13.1万㎡、H29:7.9万㎡

水源林整備保全、鳥獣害対策

- 湖国の森林と自然を守るコホジカ
特別対策事業（118百万円）
- 陽光差し込む健康な森林づくり事業
（392百万円）
- 新 ○「やまの健康」獣害対策モデル事業※（0.7百万円）
（※「やまの健康」推進プロジェクト）



コホジカによる食害状況

外来生物対策

- 侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業
（264百万円）
- 有害外来魚ゼロ作戦事業（35百万円）



オオバナミズキンバイ駆除

生態系、生物多様性保全

- ヨシ群落保全管理事業（19百万円）
- 早崎内湖再生事業（73百万円）



ヨシ刈取状況

水草対策

- 水草刈取事業（107百万円）
- 水草除去事業（112百万円）



水草刈取

1. 琵琶湖保全再生施策に関する計画 関連事業予算

琵琶湖を『活かす』取組

琵琶湖の活用推進

- 新 ○琵琶湖活用推進支援事業（1.0百万円）
- みどりのみずべの将来ビジョン作成事業（20百万円）

琵琶湖漁業の持続的発展

- 新 ○びわ湖のめぐみ魅力体感事業（15百万円）
- しがの漁業担い手確保事業（7.4百万円）



アユの佃煮

山村の再生、林業成長産業化

- しがの林業・木材産業強化対策事業（19百万円）
（県産材の生産力の強化、流通・販売の促進等）
- しがジビエ活用拡大事業（3.4百万円）
- 新 ○「やまの健康」推進事業※（9.1百万円）
（※「やまの健康」推進プロジェクト）



木材流通センター支援

「世界農業遺産」認定に向けた取組

- 「世界農業遺産」プロジェクト推進事業（13百万円）
- 琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語創造プロジェクト
（魚のゆりかご水田の普及拡大等）（2.7百万円）



環境に配慮した農業
（魚道を上るコイ）

- ◆木材生産
平成29年素材生産量 88千m³（全国39位）
- ◆世界農業遺産
平成31年2月15日に『日本農業遺産』に認定されるとともに、『世界農業遺産』認定に向けた国連への申請が承認された。
- ◆この夏！びわ活！
びわ湖の日から山の日までを琵琶湖に関わる重点期間として、琵琶湖に関する各種情報を発信

環境関連産業の振興

- 滋賀ウォーターバレー・水環境ビジネス推進事業（41百万円）
- 水草等対策技術開発支援事業（11百万円）



水草堆肥化試験状況

体験・体感による琵琶湖とのふれあい推進

- ビワイチ観光推進事業（30百万円）
- 「びわ湖の日」活動推進事業（9.5百万円）
- エコツーリズム推進支援事業（5.6百万円）
- おもしろ下物ビオトープ水辺のにぎわい創生事業（1.0百万円）



ビワイチ

1. 琵琶湖保全再生施策に関する計画 関連事業予算



琵琶湖を『支える』取組

- ◆ 国立環境研究所琵琶湖分室等との連携推進
- ◆ 琵琶湖博物館 第2期リニューアルオープン
- ◆ 学習船「うみのこ」新船就航

調査研究

- 国立環境研究所連携推進事業（112百万円）
（国立環境研究所琵琶湖分室との共同研究や研究成果の活用・実用化等）
- アユ資源・漁獲情報発信高度化研究（6.1百万円）
（精度の高いアユの生息状況把握手法の開発等）
- 新 ○ 琵琶湖におけるプラスチックごみ問題調査検討事業（1.8百万円）
- 新 ○ 気候変動適応推進事業（12百万円）



琵琶湖環境科学研究センター

多様な主体による協働

- マザーレイクフォーラム推進事業（1.9百万円）
- 協働の森づくりの啓発事業（18百万円）
（森林の価値の発信、森づくりへの参画促進等）
- 全国植樹祭開催準備事業（42百万円）
- 新 ○ 「やまの健康」山と農のにぎわい創出事業※（3.0百万円）
（※「やまの健康」推進プロジェクト）



マザーレイクフォーラム「びわコミ会議」

環境教育・学習

- 琵琶湖博物館展示事業（299百万円）
- びわ湖フローティングスクール事業（272百万円）
- 森林環境学習事業（111百万円）



びわ湖フローティングスクール

2. 琵琶湖保全再生の推進に向けて ～政府提案・連携協力～



政府提案・要望の実施状況

◆平成31年度に向けた琵琶湖の保全および再生についての提案・要望

(春) 平成30年5月22・23日 (秋) 平成30年11月27・28日

◆平成31年度に向けた琵琶湖の保全および再生についての重点事項要望

平成30年7月18日

【要望項目】

- ・下水道施設の改築更新に対する交付金制度の堅持
- ・治山事業に対する財政支援の充実
- ・新規漁業就業者の確保への支援

◆平成31年度政府予算等に係る要望(箇所付け要望)

平成31年1月15日

【要望項目】

- ・下水道による水質保全と不明水対策
- ・林野公共事業等の推進
- ・侵略的外来水生植物対策

【主な提案・要望項目】

- ・琵琶湖の財政需要に対する地方交付税措置(春・秋)
- ・新たな水質環境基準の検討(春・秋)
- ・下水道による水質保全と不明水対策(春・秋)
- ・琵琶湖の保全・再生に資する森林づくりの推進(春・秋)
- ・自然再生事業に対する財政上の措置(春・秋)
- ・侵略的外来水生植物対策(春・秋)
- ・大量繁茂する水草対策(春・秋)
- ・琵琶湖漁業資源の安定化対策の強化(春)
- ・鳥獣被害防止対策の充実(春・秋)
- ・農村地域における地域共同活動への支援の充実(春)
- ・環境保全型農業の一層の推進(春・秋)

政府提案・要望による成果

◇琵琶湖保全再生等推進費

総合的かつ効果的に琵琶湖保全再生関連施策を推進することにより、琵琶湖の水質および生態系の保全・再生を図ることを目的として、平成29年度より環境省が湖辺の環境修復対策等の検討を実施。

<平成29年度 3千万円、平成30年度 3千9百万円、平成31年度 3千9百万円>

◇国立環境研究所琵琶湖分室との連携推進

平成29年4月に設置された国立環境研究所琵琶湖分室と連携して、新たな水質管理手法(TOC)の検討や、水草の適正管理、在来魚介類のにぎわい回復に資する研究等を推進。

他自治体との連携

◇湖沼水環境保全に関する自治体連携の設立

滋賀県の呼びかけにより、持続可能な人と湖沼の共生を目指し、5県※の知事を発起人とする「湖沼水環境保全に関する自治体連携」を設立。(※茨城県・長野県・滋賀県・鳥取県・島根県)

◇びわ湖の日における下流域との連携協力

琵琶湖疏水記念館(京都市)において「びわ湖の日」特別展示および京都環境フェスティバルへのブース出展(京都府)。



2. 琵琶湖保全再生の推進に向けて ～課題共有～

国(関係省庁)や下流関係府県市との課題の共有

◆琵琶湖保全再生推進協議会幹事会開催(平成30年9月7日)

琵琶湖における課題を共有し、琵琶湖保全再生施策の推進に必要な事項について協議することを目的に、主務省、関係行政機関、および下流域の関係府県市出席のもとで、滋賀県庁にて琵琶湖保全再生推進協議会幹事会を開催。

会議の前には、オオバナミズキンバイのクラムシェルによる駆除実演や学生ボランティアによる手作業での駆除の様子、水草液肥化実証実験施設等の視察を実施した。



国(環境省)との課題の共有

◆環境大臣政務官(笹川政務官(当時))による知事との意見交換および琵琶湖視察(平成30年8月21日)

オオバナミズキンバイのクラムシェルによる駆除実演、琵琶湖環境科学研究意見交換センターにおける調査研究の状況等について視察いただくとともに、知事とのを行い、琵琶湖の課題等について共有を図った。



◆環境省水・大気環境局長(田中局長)による琵琶湖視察(平成31年1月24日)

オオバナミズキンバイのクラムシェルによる駆除実演や、琵琶湖環境科学研究センターにおけるTOCに関する調査研究の状況等について視察いただき、琵琶湖の課題等について共有を図った。



国会議員との課題の共有

◆参議院環境委員会(那谷屋委員長他5名)による知事との意見交換および琵琶湖視察(平成31年2月18日)

琵琶湖環境科学研究センターにおいて、琵琶湖の現状や課題、調査研究の状況について説明するとともに、知事との意見交換を実施。また、オオバナミズキンバイのクラムシェルによる駆除実演や琵琶湖博物館を視察いただき、課題等について共有を図った。

